

福岡 目標達成に向けて19,867筆を集約！

10月17日(金)の中間集約に向けて、さっそく福岡から中間集約の報告が届きました。県の目標は、必守目標を1万筆上回る8万筆です。

福岡では、今月後半に福岡地区、筑後地区、北九州地区の3か所で街頭署名が予定されています(福岡は10/18、筑後と北九州は10/25に予定)。このうち福岡地区ではここ数年街頭署名ができていませんでしたが、担当の先生方の尽力で今年は実施の方向で動いています。当日は3つの地区それぞれの加盟校に父母、生徒、教員の参加を呼びかけています。一方で、昨年まで署名運動に参加できていた学校で、今年は校長命令により「運動不可」となっていました。

福岡すすめる会の佐野事務局長は「今年は特に、今後の私学助成を左右する大切な署名集約活動となる。院内集会に向けてできる限りの署名を集めたい」と述べています。

新潟 経常費助成削減措置の導入阻止へ！

新潟では、3年連続定員割れ校への経常費助成削減を打ち出した県行政に対して、私学の実情や役割を伝え、私学を「生徒獲得競争」に巻き込んでいくような施策を撤回させるのが大きな柱です。また、市町村独自の経常費助成の1/2分を県の経常費助成から減額する措置も撤回を要請しています。

署名運動のとりくみとしては、7/12署名スタート集会、8/9私学夏のフェスタ、11/1私学のひろばなど、運動の節目に集会を開催し、学習の運動の主体者づくりを位置づけます。ひとり一人の「声」が詰まった春の知事宛メッセージカードは1521枚を8月のブロックキャラバンで県に手渡しました。また、県内市町村議会での「私学助成拡充を求める国・県あて意見書」採択・送付の要請のとりくみや、中学生とその保護者対象の「学費ホットライン」の開催などにも県を挙げてとりくんでいます。

加茂曉星では、春に知事宛・文科大宛でのメッセージカードの全校一斉配布を校長に要請し、校長が了承。父母配布の際にはPTA会長名の添書を実現しました。この実績を踏まえて、私学助成署名についての校長への要請を計画しています。また、新潟青陵では8/20、8/21に校内での学習会を開催し、未組合員も参加しました。

県の目標は、前年到達点を約3万筆上回る7万筆。あえて高い嶺を設定し挑戦します。執行委員会で、学園ごとの目標数を出し合い、その目標をやり遂げるための具体策を議論し、その中で「今年新たに踏み出すことを1つでも増やす」ことを確認しました。

目標達成までの道筋を描いて中間集約を！

一歩ずつでも前進をめざして集約状況を報告してください

目標の達成に向けてどのような道筋を描くのか、その過程でフェス・つどいや街頭署名・パレードなどをどう位置づけるのか、そのような議論が求められています。青森、宮城、千葉、新潟、岡山では、10月と11月に複数回の中間集約日を設定しています。本部の中間集約日は既報のとおり、10月17日(金)、31日(金)、11月14日(金)、28日(金)です。たとえ一歩ずつでも、全体での前進をめざして、毎回の中間集約日に各県の集約状況を報告してください。

本部集約日：10/17(金) 各県の集約数を本部に連絡してください。

9月末学費滞納調査 締切10/17(金)

「私学を含む高校授業料無償化」の実現に欠かせない貴重な資料になります。
未提出校にはただちに回収・送付の連絡を入れてください。

私学助成署名・請願運動を強め、対話で署名を呼びかけ、 専任増・持ち時間減・少人数学級を運動で実現しよう！